

SG セターの始業前点検 必ず安全確認をしてからご使用下さい。

### ロック確認

- ・ 感知ガードスライドロックが確実にロックされているか？
- ・ 伸縮脚ストッパーが確実にロックされているか？
- ・ 背面感知ガードスライドベースが確実にロック位置（中央）にあるか？

### 設置後の確認

- ・ 天板面が水平になっているか？
- ・ 平らな場所においてガタつきがないか？

### 異常の確認

- ・ 感知ガードに曲がり・亀裂はないか？
- ・ 天板に曲がり・亀裂はないか？
- ・ 主脚に曲がり・亀裂はないか？
- ・ 踏みさんに曲がり・亀裂はないか？
- ・ 伸縮脚に曲がり・亀裂はないか？

### SG セター事項

- ・ 二人乗りはしない。
- ・ 感知ガード（背面側含む）に乗らない・物を載せない・腰掛けない。
- ・ 爪先立ちはしない。感知ガード（背面側含む）に安全帯を掛けない。
- ・ 無理に壁を押したり物を引いたりしない。乗った状態で移動しない。
- ・ 背面感知ガードを掴んで昇降しない。
- ・ 天板の上に台や脚立を載せて使わない。
- ・ 昇降禁止側から昇降しない。
- ・ 背を向けて降りない。踏みさん上で作業をしない。
- ・ 乗り出して作業をしない。

最大使用質量 150kgf(1,470N)

- 体重と積荷の合計重量が、最大使用荷重を超えて使用しないこと。
- 同時に2人以上乗らないこと。

### 危険

- 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意すること。
- 感電注意。

### 警告

- 手を挟まないように注意。

### 注意

- 塗料、接着剤、モルタル、発泡ウレタン等の付着は、全損請求となりますので、養生をお願いします。

製造元 ジー・オー・ピー株式会社

代表 03-5534-1800

## SG セトー 組立方法

- ①本体を立てる。
- ②両側面の主脚開き止め金具を外す。
- ③主脚ユニットを開き、天板が水平になるまで倒し、感知ガードを起こす。  
手挟み防止の**天板減速装置**を押し下げ、天板が天板受に届くまで倒してください。  
感知ガードを起こす。(L,LLo,LLs) **スライドロックが確実にロックされていることを確認する。**  
\*収納時はスライドロックを矢印方向にスライドさせて感知ガードを下ろし、収納する。
- ④スライドベースを右側にスライドし、ロックを解除する。  
背面感知ガードを起こします。
- ⑤組立完了。収納時は逆の手順で行ってください。

## 伸縮脚調整の方法

◎伸縮脚の伸縮は本体を持ち上げロックレバーを操作するとスムーズに作動します。

※ロックが確実にかかって伸縮脚が滑らないことを確認すること。

※伸縮脚の角孔に亀裂あるいは変形がある場合には使わないこと。

※使用后、伸縮脚を絶対に縮めること。伸縮脚の破損、曲がりの原因になります。

## 使用上の注意と禁止事項

### SGセトーの設置場所等

- 単体で使用してください。
- 次のような場所には、設置しないでください。
  - ①傾斜している場所
  - ②天板が水平にならない場所
  - ③段差や凹凸等により簡易作業台が安定しない場所
  - ④不意の移動、沈下等のおそれのある場所
  - ⑤人や物の出入口やドアの前等、専ら通路として使用される場所。ただし、出入禁止等の表示を行った場合はこの限りではない。
  - ⑥足元や周囲がはっきり見えない暗がり場所
  - ⑦作業台を高くするための台や箱の上
- 作業箇所に可能な限り近接したところに設置してください。

### SGセトーの使用方法

- 足場板の積載荷重は、150kg以下でご利用ください。
- 感知ガード(背面側含む)はセットした状態で使用してください。

- 昇降は、天板が水平になっているのを確認した後行ってください。
- 荷の受け渡しは昇降面側より、無理のない安定した姿勢で行ってください。
- 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたりする等乱暴に扱わないでください。
- 固定機構部にコンクリート等の付着が予想される作業の場合には、あらかじめ当該部分の養生をしてください。
- 設置時や持ち運ぶときは配線に注意してください。
- 昇降は昇降面に対し、前向きで行ってください。
- 折り畳みタイプのものについては、折り畳み金具がロックされていることを確認してください。

### 禁止事項

- 墜落のおそれがあるので、作業時に、天板から身体を乗り出さないでください。
- 同時に2名以上の者が乗らないでください。
- 片足立ちや爪先立ちをしないでください。
- 脚の下に物を挟まないでください。
- 天板の上で脚立・架台・はしご等を使用しないでください。

- 人を乗せたまま移動しないでください。
- 主脚ユニットを折り畳んだ状態で使用しないでください。
- 踏みさん上で作業しないでください。
- 天板の端で作業しないでください。
- 作業台としての用途以外には使用しないでください。
- 作業中に壁を押ししたり物を引いたりしないでください。
- 感知ガード(背面側含む)に乗ったり、腰掛けたりしないでください。
- 改造しないでください。

### 危険

- 確実に感知ガード(背面側含む)のロックをしてください。
- 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。
- 感電に注意してください。

### 警告

- 天板が水平になるように設置してください。
- 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには設置しないでください。
- 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

- 固定機構部にコンクリート等の付着が予想される作業の場合には、あらかじめ当該部分の養生をしてください。
- 使う前には各部に異常がないことを確認してください。
- 変形した作業台を使わないでください。
- 使うときは、脚調整装置を確実にロックしてください。
- 作業台を背にして降りないでください。
- 作業台から身を乗り出して作業しないでください。
- 荷物を持って、昇り降りしないでください。
- 作業台の上で脚立、架台、はしご等を使わないでください。
- 天板の端で作業をしないこと。爪先立ちや片足で立たないでください。
- 人を乗せたまま、移動しないでください。
- 天板の上に人や荷物を乗せたまま、伸縮脚の長さ調節をしないでください。
- 作業中に上ばかり気をとられて足を踏みはずさないように注意してください。
- 感知ガード(背面側含む)に乗らない・腰掛けしないでください。
- 手をはさまないように注意してください。